## みやぎ税務会計事務所通信

2022年11月



## 税務の話題

2022年もいよいよ後半

「医療費控除」のこと

"後半"というより、2022年も年末が近くなってきました...。

役員報酬や給与を受け取っていらっしゃる方は <u>年末調整 = 所得税の精算</u> の時期です。 ただし、この控除は年末調整では適用できません。

2022 年に多くの医療費を支出した方は、確定申告をすることで、控除を受けることができる場合もあります。

医療費が 10 万円を超えたら所得税が安くなる!? だけではない「医療費控除」! 制度を正しく確認しておきましょう!

医療費控除		セルフメディケーション税制 (医療費控除の特例)
<ul><li>支払った医療費</li><li>保険金等で補てんされる金額</li></ul>	対象	特定一般用医薬品等の購入費 (税)(2005) - 保険金等で補てんされる金額
		出偶者やその他の親族のために 払った医療費・医薬品購入費
上記のうち 1 0 万円( )を超える金額 総所得金額等が 200 万円以下の場合は総所得金額等の 5%	控除 対象	上記のうち 12,000 円を超える金額
なし	要件	その年中に健康診断や 予防接種などを受けていること
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	提出書類	

協会けんぽなど、医療保険者が発行する「通知書」の添付も可。領収書の提出は不要(ただし5年間保存する必要があります)。

上記2つの制度は「選択適用」です。

また「通知書」は、協会けんぽの場合、9月分までしか集計されていません。10月以降分は 領収書の保存が必要となりますので、医療費控除を適用予定の方はご注意ください。